

第2学年〇組 学級活動（1）指導案

日 時 令和7年〇月〇日（〇）第〇校時

場 所 2年〇組教室

指導者 〇〇 〇〇

1 議題 「修学旅行に向けて、はんなりプロジェクトをしよう」

ア 学級や学校における生活上の諸活動の解決

2 議題について

(1) 生徒の実態

本学級の生徒は、明るく元気がよい。2年生となり9か月が経過し、少しずつ最上級生になる自覚をもち始めている生徒が多くなっている。体育祭や合唱コンクール、修学旅行への取組を通じて、クラスでの対話の時間をとり、団結力も高めてきた。

学級会では、自分の意見を持ち、堂々と発表することができる生徒が多い。賛成、反対意見だけでなく、学級会の中で、新たなアイデアを出すこともできる。課題としては、学級会の中で自分の意見を通したいがあまり、言葉遣いが強くなってしまっていることが挙げられる。この意見が正しいと白黒、結論付けるのではなく、クラスのためになる行動は何か、出てきた意見を受容し、発展させながら上手に折り合いをつけていくためにはどうすればよいかを考えられるようにすることを意識し、日々指導をしている。

(2) 議題選定の理由

本学年では、1月に修学旅行を控えている。修学旅行では、慣れない場所で生活することや、多くの人と関わることが想定されるため、クラスとしてマナーの向上を目指すこととなった。11月には「時間」をテーマにした学級活動を行い、時間を守る意識や先を見通した行動をすることができるようになってきた。その他、マナーという観点で、自分たちのクラスで課題を考えたところ、「言葉遣い」、「挨拶」等が課題であると考えた生徒が多かった。それら課題を改善していく取組を考え、実行していくことで、充実した修学旅行にできると考え、議題とした。

3 研究議題との関わり

(1) 研究課題

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

(2) 研究の視点

主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり
～特別活動の「見方・考え方」を働かせた話し合い活動の充実～

(3) 研究課題解決のための仮説と手立て

仮説Ⅰ 話し合い活動により、コミュニケーション能力が向上する。

手立て① 定期的に学級会を実施し、対話による課題解決の場を経験できるようにする。

手立て② 話し合い活動の中で適宜教師による助言を入れることで、正しい言葉遣いや他者を思いやる気持ちを育めるようにする。

仮説Ⅱ 話し合い活動により、主体性が身に付く。

手立て① 課題解決をする方法を自分事として捉え、考えられるようにする。

手立て② 出てきた意見を実際に行うことで、話し合い活動に対してより意欲的になり、また、行った取組を振り返ることで、よりよい方法や意見を自ら見いださせるように指導していく。

仮説Ⅲ 話し合い活動の充実により、生活の質とともに学力が向上する。

手立て① 学級で決まったことを実際に行うことで、主体性を養いながらも自分たちの学級をよりよいものとし、授業や学習に向かう力を養うことができるようにする。

手立て② 豊かな人間関係を構築させることで、お互いに学び合う姿勢を意識できるようにする。

4 第2学年の評価規準

観点	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価規準	○学級や学校の生活上の諸問題を話し合って解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解している。 ○合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	○学級や学校の生活をよりよくするための課題を見いだしている。課題解決に向け、話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践している。	○学級や学校における人間関係を形成し、見通しをもったり振り返ったりしながら、他者と協働して日常生活の向上を図ろうとしている。

5 事前の活動

日時 活動の場	生徒の活動 ○計画委員会●全員の活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】(評価方法)
○月○日 (○) 帰りの会	●学級の諸問題を考え、議題を決定する。	・1月に行われる修学旅行をより充実させるためにどうすればよいかを考えられるようにする。	◎よりよい学級生活を目指し、進んで諸問題や議題を考えている。【態】(観察)
○月○日 (○) 放課後	○活動計画を作成する。 (提案理由、役割分担、決まっていること等)	・学級全体が共感できるような提案理由を考えられるようにする。	◎話し合いの進行の仕方等を理解している。 【知】 (活動計画、観察)
○月○日 (○) 帰りの会	○話し合うことを全員に伝える。	・話し合うことや決まっていることが共通理解できるように助言する。	
○月○日 (○) 帰りの会	●アンケート機能を用いて、具体策を回答する。	・提案理由に沿った具体策を書くことができるように助言する。	◎提案理由に沿った具体策を考え、アンケートに回答している。 【思】 (アンケートの回答内容)
○月○日 (○) 放課後	○アンケートの結果を見て、意見を整理する。 ○必要に応じて、可視化できるように短冊を用意する。	・話し合いの見通しをもてるように助言する。	◎生徒から出た意見を見て、議題理由を考えながら意見を整理している。【知】(観察)
○月○日 (○) 帰りの会	●計画委員が選んだ意見に対する自分の考えを学級会ノートに記入する。	・自分の意見を書き、学級会で発表できるようにする。	◎出された意見について、自分の考えを記入している。【思】(学級会ノートの記述)

6 本時の展開

(1) 本時のねらい

よりよい学級生活をつくるため、自分の意見をしっかり伝え、クラスの仲間の考えも生かし合いながら、修学旅行に向けた取組を考え、合意形成することができるようにする。

(2) 教師の指導計画

活動の計画	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】(評価方法)
1 はじめの言葉 2 役割の紹介 3 議題の確認	・学級会のルールに基づいて行われる話し合い活動にする。	
修学旅行に向けて「はんなりプロジェクト」をしよう。		
4 提案理由の確認	B 期も終わりに差し掛かり、1 月には修学旅行も行われます。修学旅行に向けた、マナーの向上を意識したときに、クラスの課題として、「言葉遣い」が挙げられました。多くの人と関わる活動である修学旅行において、様々な場面で正しい言葉遣いが大切です。前回の学級会で話し合った時間に加え、言葉遣いも向上させていくと、よりよい修学旅行にすることができると思え、提案することにしました。	
5 教師の話、決まっていることの確認	・自主的に学級会が実施されるように助言をする。	◎本時の話し合いの意義や目的を理解し、意欲的に話し合いに参加しようとしている。【主】(観察)
6 話し合いのめあての確認	・【出し合う→比べ合う→まとめる】を基本とし、出てきた意見を比較し、まとめさせていく。	◎積極的に自分の意見を発表し、仲間に伝わりやすいように発表している。【知】(観察)
7 話し合い 話し合うこと① 「具体的な取組を考えよう」 話し合うこと② 「役割分担を考えよう」	※事前に計画委員会で 5 つの具体案を選び、提示しておく。 ・充実した学級会にするために、必要に応じて助言を行う。	◎仲間の意見を踏まえながら、お互いに納得できるように折り合いをつけて話し合いを行っている。【思】(観察)
8 決まったことの確認	・決まったことを書記に発表させ、確認させる。	
9 振り返り	・話し合いの目標が達成できたか、自分の取組はどうだったか振り返らせる。	◎今回の話し合いに対する振り返りをしつつ、合意形成したことを自主的に取り組もうとしている。【主】(学級会ノートの記述、観察)
10 教師の話	・話し合いが深まる要因となった意見を紹介する。 ・計画委員の活動を称賛する。	

7 事後の活動

日時	生徒の活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】(評価方法)
○月○日 (○)	・決まったことを背面黒板に掲示する。	・全員にとって分かりやすく記入するように助言する。	◎目標を意識し、級友と協力しながら実践に取り組んでいる。
○月○日 (○) ～○月○日 (○)	・決まった取組を実践する。	・活動意欲を継続できるように、役割分担を意識させ、適宜生徒が課題をもって取り組めるようにする。	【態】(観察)
○月○日 (○)	・実践についての振り返りを行う。	・話合いや実践の良かった点や課題等をまとめるように助言する。	◎学級会や実践を振り返り、課題を見つめ、次の学級会に生かそうとしている。【態】(振り返りシート)

8 備考 在籍生徒数：○名